教材研究ノート№2-A-18

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・かけ算九九を構成し，唱えたり適用したりできる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・基準量のいくつ分で考えることを学習している。

・かけ算は，累加で計算できることを学習している。

○共同追究でのゆさぶり

・答えが同じになるかけ算を，2つの基準量から考える経験は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・数図ブロックを並べて，基準量のいくつ分で考えられることを学習している。

≪学習問題≫

みきさんは　九九の表を見て　こたえが同じになるかけ算があることを　見つけました。九九の表を見て　こたえが同じになるかけ算を見つけましょう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

②見通し:九九の同じ段の中には，答えが同じになる計算はない。

→2×3と3×2は答えが同じ6になる。他にもありそうだ。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

②学習課題:かける数とかけられる数を入れ替えると答えが同じになるか，九九の表を使って調べてみよう。

③個人追究:九九の表を使って，答えが同じ計算を見つける。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの計算にも，共通していることは何だろう？」

→「かける数とかけられる数を入れ替えた九九は，みんな答えが同じになる。」

○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○

④共同追究後半（思考を深める）

「3×5と5×3が同じになることを

右の図で説明できないかな？」

→「たてに見ると3の5つ分，横に見ると5の3つ分。かける数とかけられる数を入れ替えた場合と同じになる。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・かけ算では，かける数とかけられる数を入れ替えても，答えは同じになる。

⑥定着･活用問題

ひろし君は，5×6と6×5の答えが

同じになることを，右の図を使って説

明しました。

ひろし君は，どのように説明したの

でしょうか。

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・九九の表から取り出した同じ数が2つあるものが，どんなかけ算かということについて子どもの気づきをもとに，表と式とからきまりを発見する活動を位置付ける。

・表と式，アレイ図を関連付けて，答えが同じになる理由を考えさせ，かけられる数とかける数を入れ替えても結果は同じであるが，式の意味は違うことを確認したい。

【板書計画】